



報道関係者各位

2021年9月10日

アイ・サイナップ株式会社

減災・防災 IoT デバイス「ミテテル・傾斜計 2」 LPWA2 と Wi-Fi 通信を利用した新モデル販売開始のお知らせ

アイ・サイナップ株式会社（東京都港区、代表取締役社長 江藤潔、以下「当社」）は、当社が提供する防災 IoT デバイス「ミテテル・傾斜計 2」において LPWA2(LTE-M) と Wi-Fi 通信を利用した新モデルを開発し、2021年9月10日より販売を開始します。新モデルでは「ミテテル・傾斜計」を親機と子機に分け、親機と子機の間を Wi-Fi を利用して通信することで子機の情報を親機に集約し、親機が LPWA2 で一括して情報を管理システムに送信します。

「ミテテル・傾斜計」は、国内で増加する気象災害に備えて開発された防災 IoT デバイスです。山の斜面などに設置した場合、設置時の角度を 0 度として、3 次元のセンサーにより 0 度から 180 度までの傾きを検知します。管理者は離れた場所からシステム上でミテテル傾斜計の状態を確認できるほか、傾きがあらかじめ設定した閾値を超えた場合は携帯メール等によるプッシュ通知もあり、非常時にどこにいても異常を見逃すことはありません。

従来の「ミテテル・傾斜計」は従来の LPWA(920Mhz)通信でセンサーの情報をクラウドに送る方式を採用しておりました。しかし、従来の LPWA 通信のエリアが過疎地には届きにくい点、また 1 台 1 台に通信用契約するためコストの点から課題がありました。その課題を解決すため、新モデルでは通信方式に LPWA2 として LTE-M を採用し携帯電話網のエリア内であれば通信可能にした上で、「ミテテル・傾斜計 2」本体を親機と子機に分けて、Wi-Fi 通信で子機の情報を親機で集約し一括送信するという方式を採用しました。

今回の新モデル発売により「ミテテル・傾斜計 2」は過疎地や山間部などでさらに使いやすい製品となりました。異常気象による災害が増加する近年、土砂崩れや水害の情報をいち早く伝えて避難するなど、IoT を活用した防災の仕組み作りが求められています。当社も 2001 年の創業時から培ってきた IoT の技術を活かして、安心安全な社会の実現に努めて参ります。

<アイ・サイナップ株式会社について>

2001 年 11 月設立。IoT(センサーと通信)と AI(機械学習)の高い技術力を活かしたハードウェア・ソフトウェアの総合開発企業。

所在地 東京都港区元麻布2-2-9-101

公式サイト <http://www.ai-cynap.com/>

<本件に関するお問い合わせ>

アイ・サイナップ株式会社（担当：緒方）

TEL 03-5476-0277、Email customer@aicynap.com

